



2024年3月期第2四半期 決算補足説明資料

2023年10月31日
株式会社 J-MAX

<2024年3月期 第2四半期>

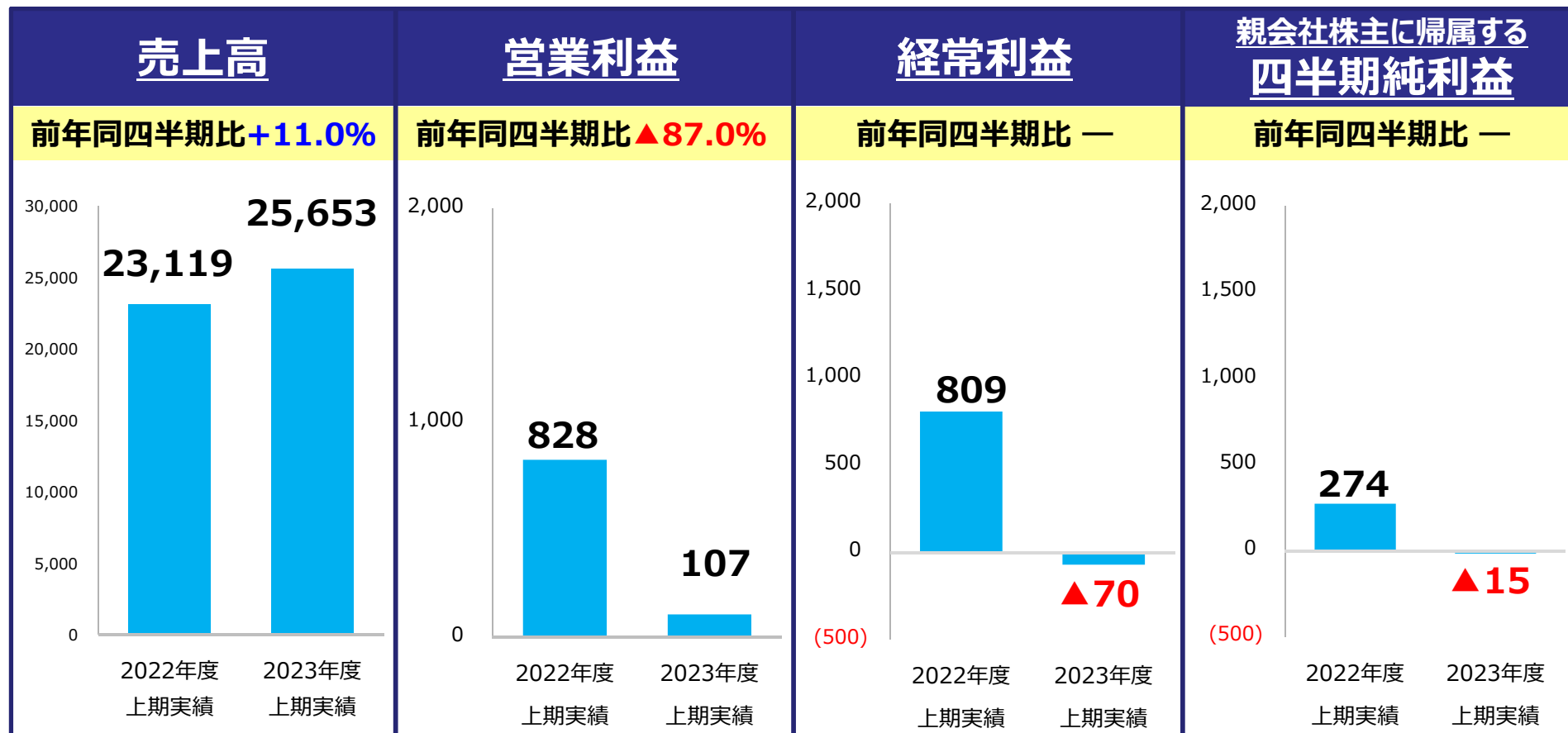
1. 連結損益状況
2. 増減要因
3. セグメント業績
4. 連結キャッシュフローの状況
5. 設備投資額、減価償却費
6. 財務状況

<2024年3月期 期末>

7. 通期連結業績予想
8. 配当について

1. 連結損益状況

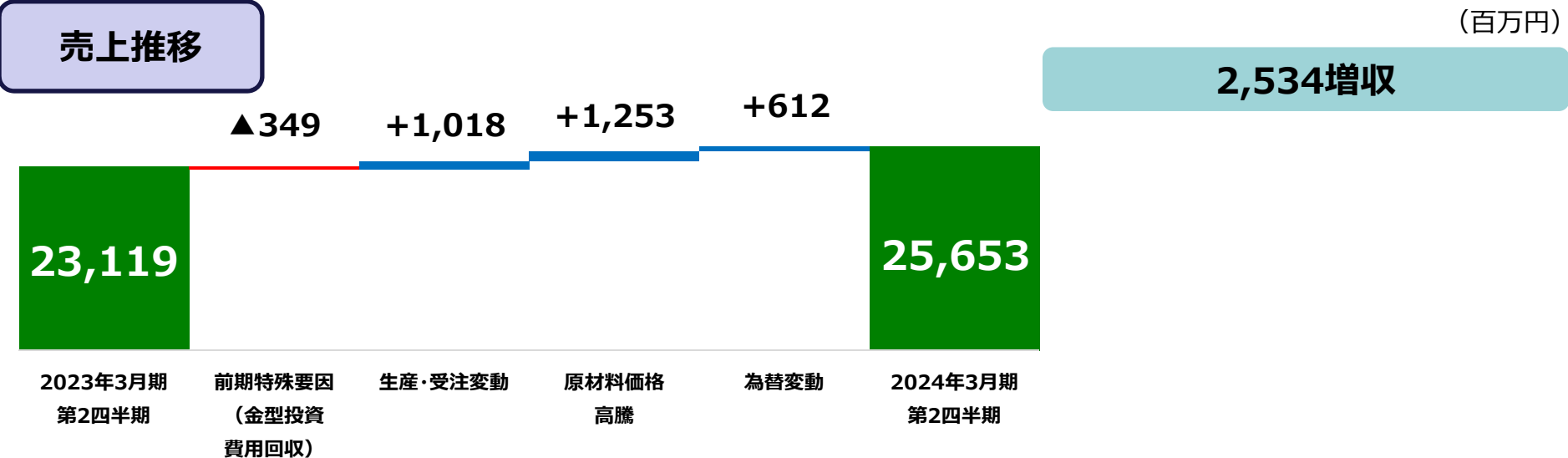
(百万円)



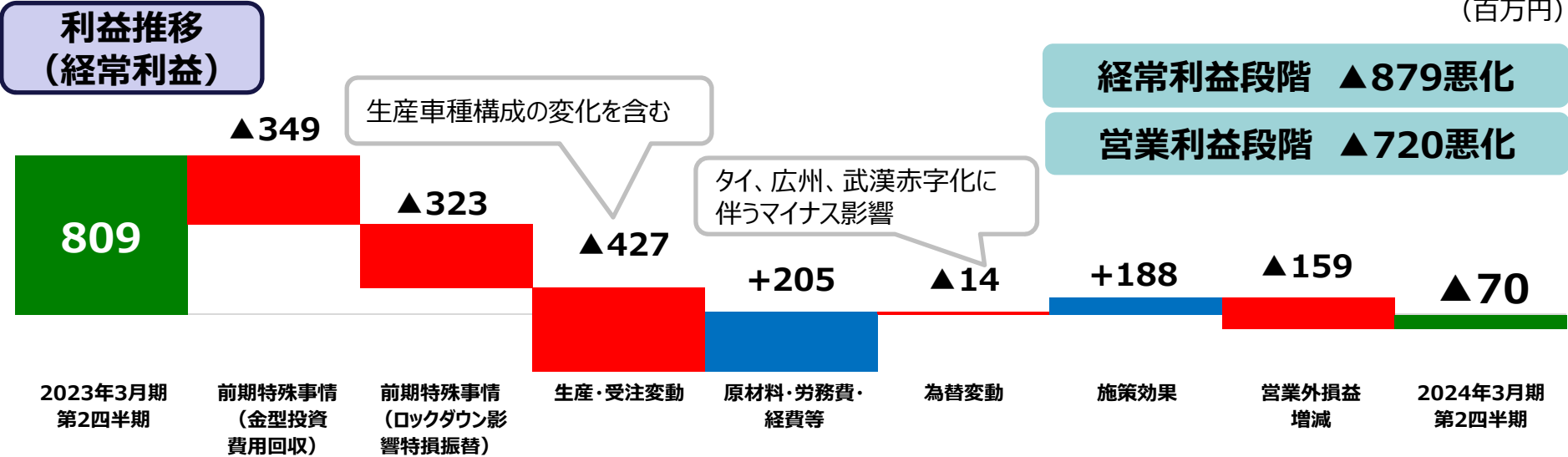
為替レート	2022年度上期 (円)	2023年度上期 (円)	増減 (円)	増減率 (%)
米ドル	133.46	141.31	+7.85	+5.9%
タイバーツ	3.63	3.94	+0.31	+8.5%
人民元	18.98	19.47	+0.49	+2.6%

2. 増減要因

(百万円)



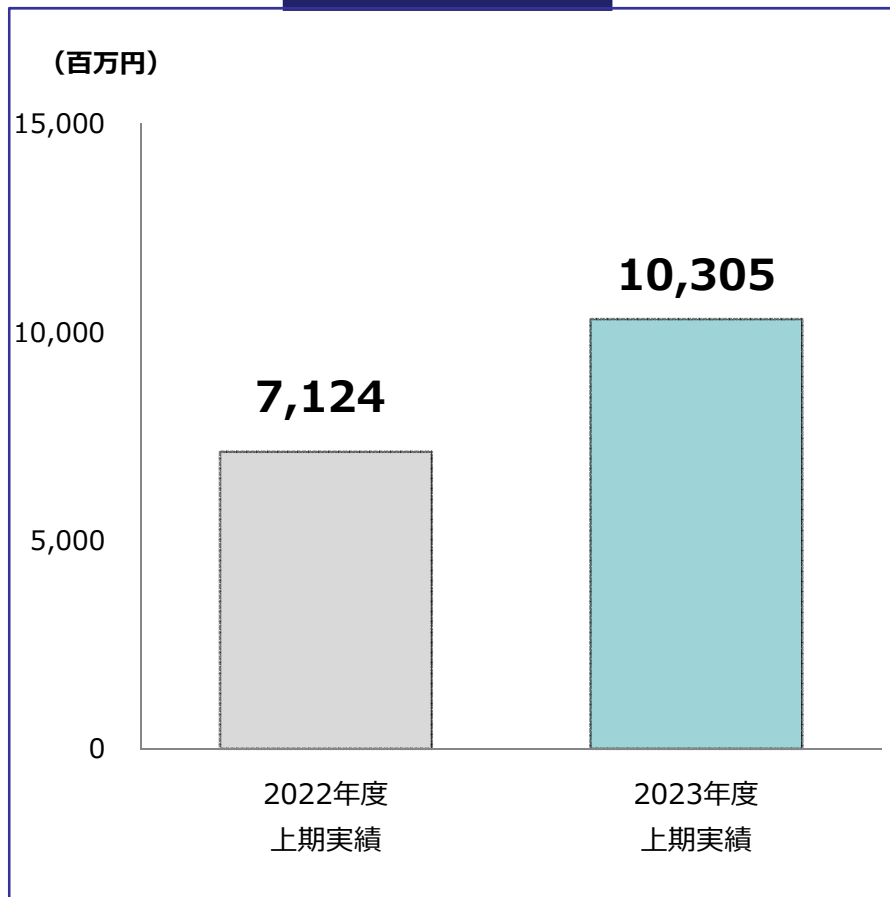
(百万円)



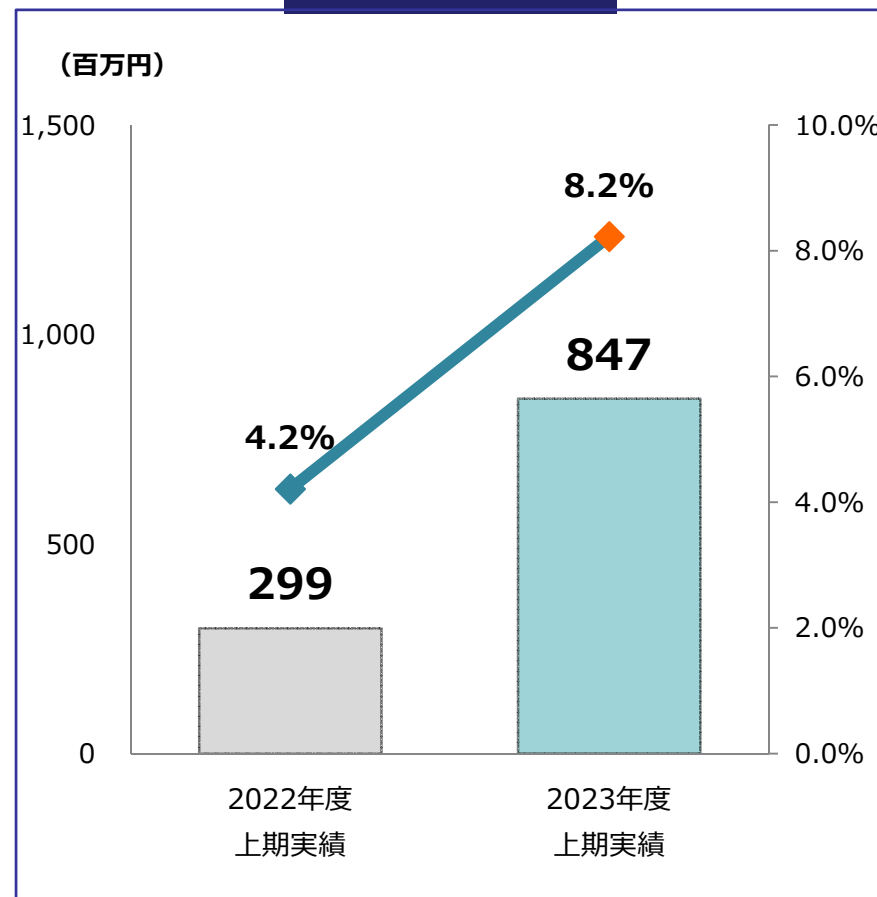
売上：J-MAXにおける生産増加、原材料価格高騰分の価格転嫁、金型販売増加等により増収
利益：前期特殊要因、海外における生産減少、生産車種構成の変化等の影響により減益

3. セグメント業績(J-MAX)

売上高



経常利益



【増減要因】

売上高

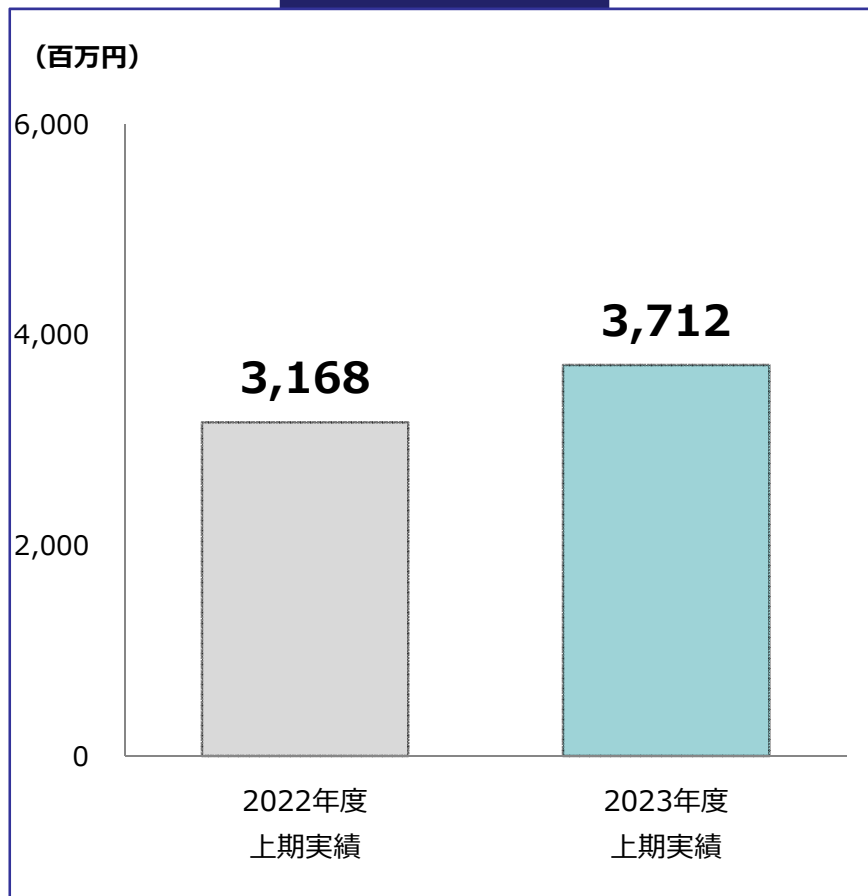
主要客先の生産回復及び原材料価格高騰による製品売価の増加等により増収。

経常利益

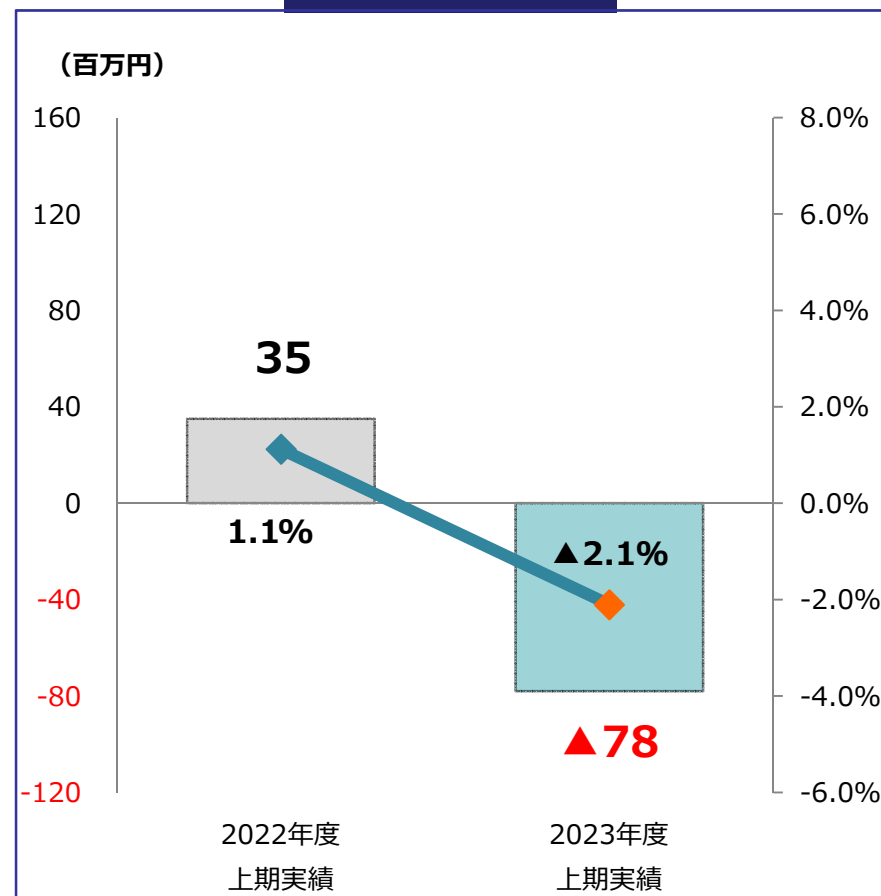
増収の影響に加え、金型事業における原価低減活動の推進により増益。

3. セグメント業績(タイ)

売上高



経常利益



【増減要因】

売上高

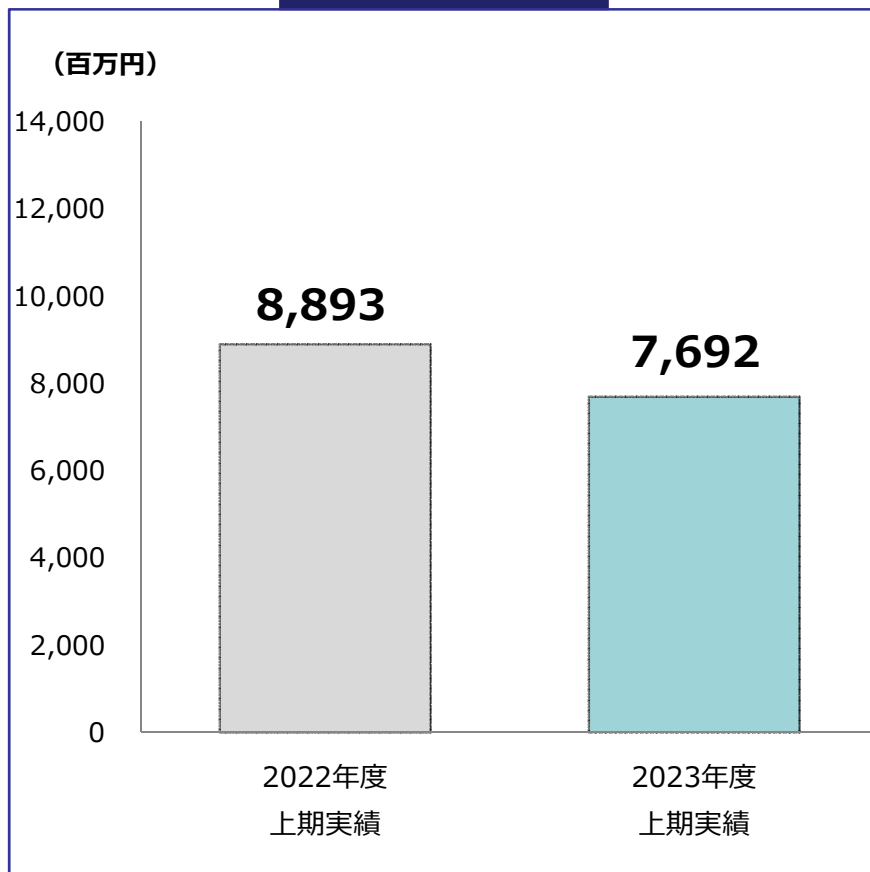
主要客先の輸出向け自動車部品及び汎用エンジン部品等における減産影響を受けたものの、国内向け自動車部品及び金型設備等の販売の増加により増収。

経常利益

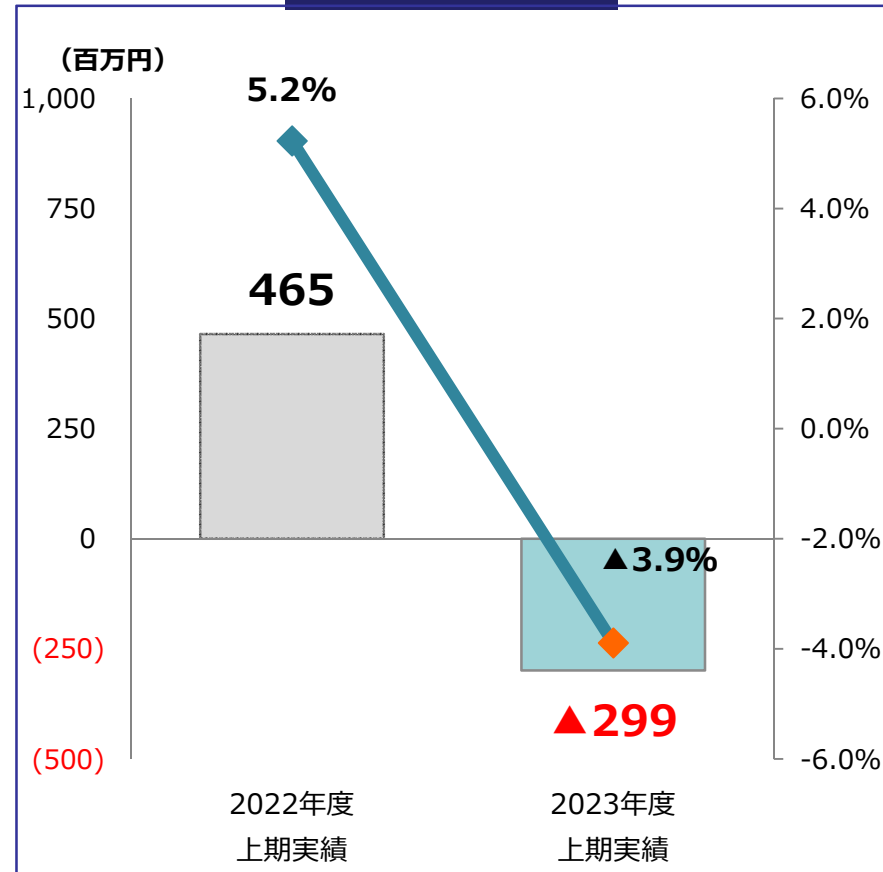
要員適正化等の原価低減活動を推進したものの、生産車種構成の変化等の影響により減益。

3. セグメント業績(広州)

売上高



経常利益



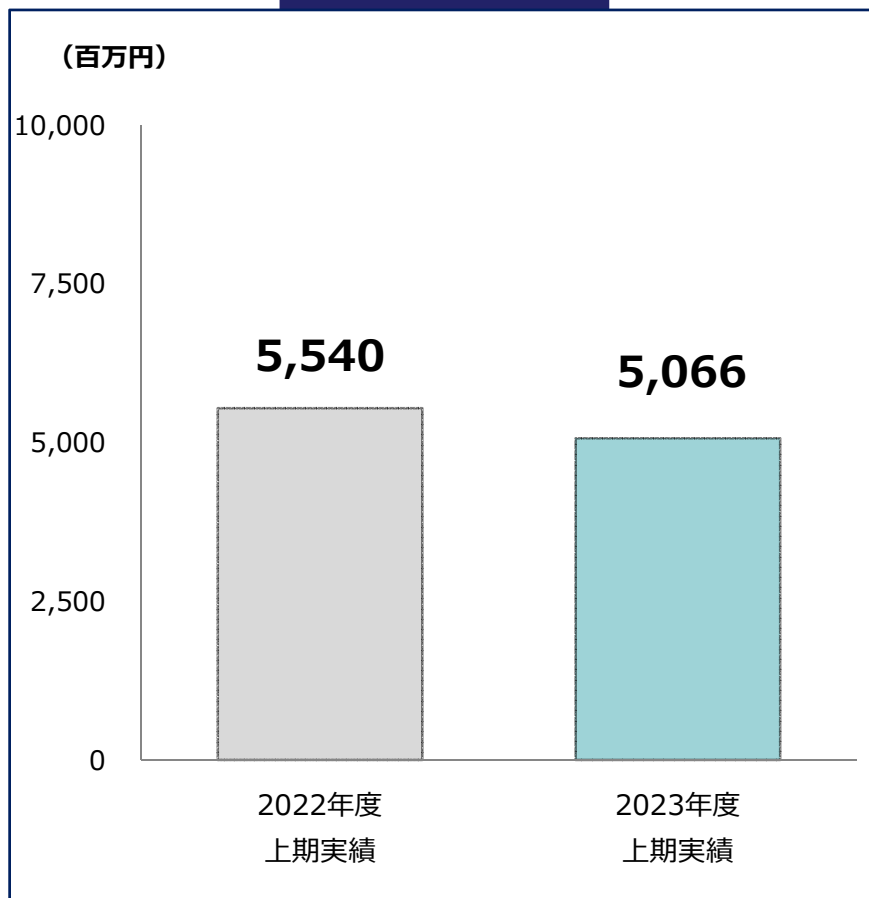
【増減要因】

売上高 経常利益

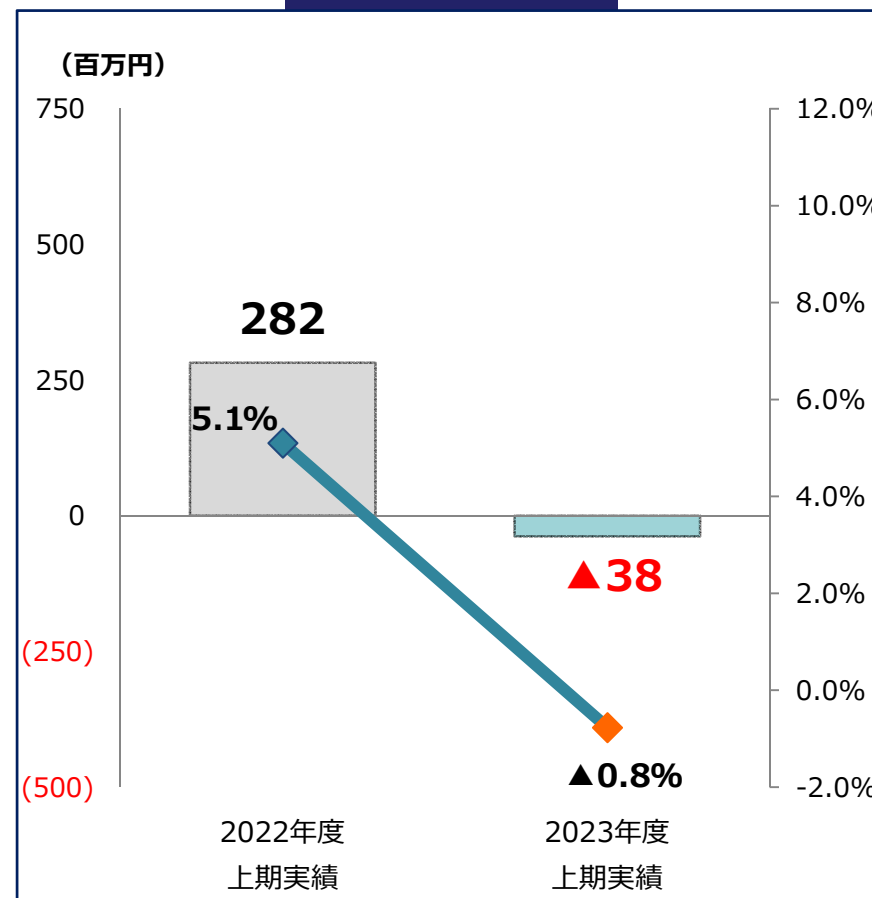
要員適正化に伴う労務費削減等の原価低減活動を推進したものの、主要客先の大幅な減産影響に加え、前年同四半期は金型投資費用の未回収分の回収及び上海ロックダウンによる生産停止に伴う費用の特別損失への振り替え等の特殊要因があったことにより減収減益。

3. セグメント業績(武漢)

売上高



経常利益



【増減要因】

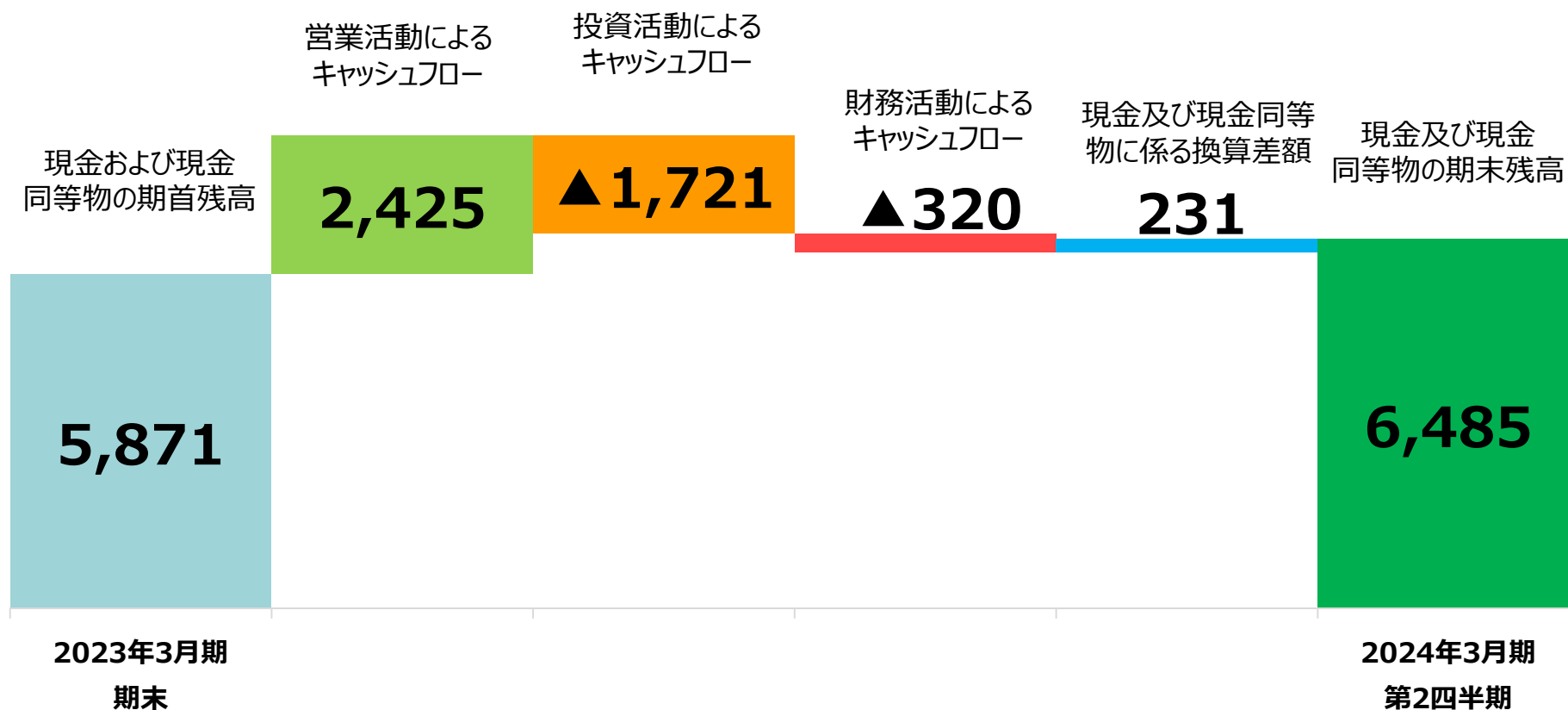
売上高
経常利益

生産性改善に伴う労務費削減等の原価低減活動を推進したものの、主要客先の大幅な減産影響に加え、前年同四半期は上海ロックダウンによる生産停止に伴う費用の特別損失への振り替え等の特殊要因があったことにより減収減益。

4. 連結キャッシュフローの状況

フリーキャッシュフローは703百万円

(百万円)

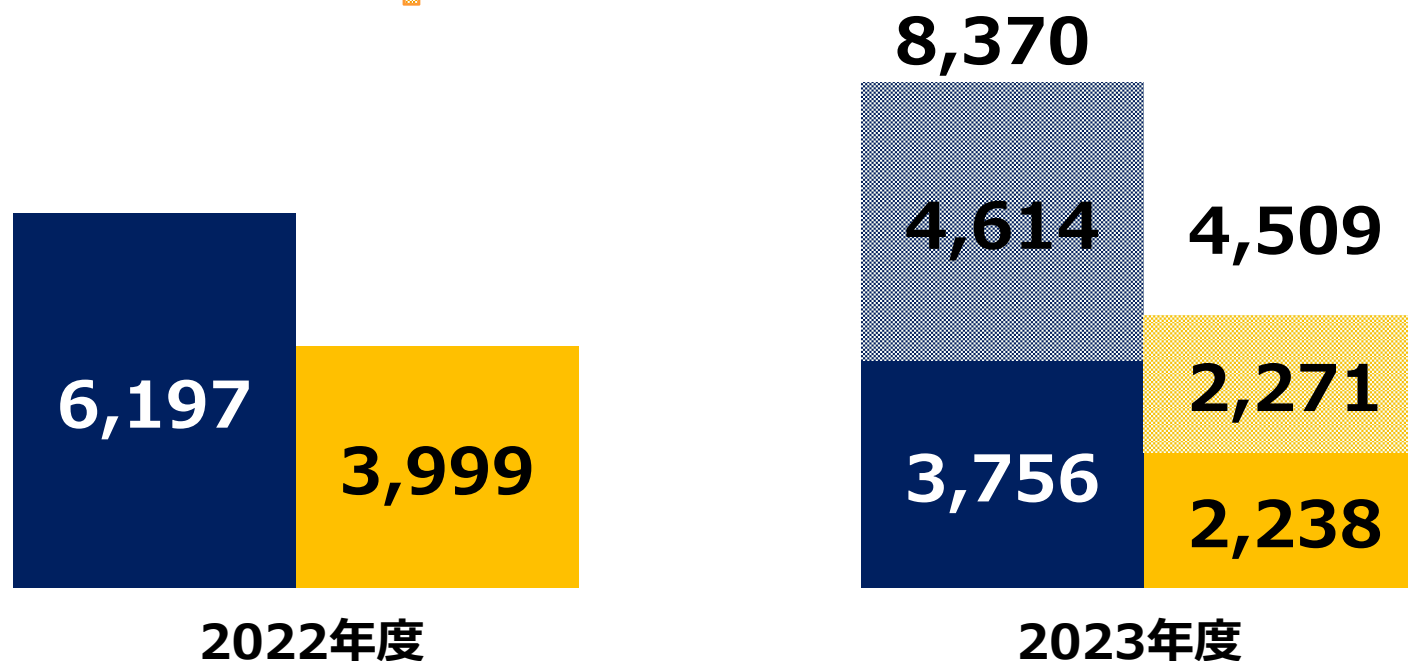


当初計画していた投資の見直し及び延期により、フリーキャッシュフローは703百万円。

5. 設備投資額、減価償却費

■ 設備投資 ■ 減価償却 ■ 2023年度下期見通し

(百万円)



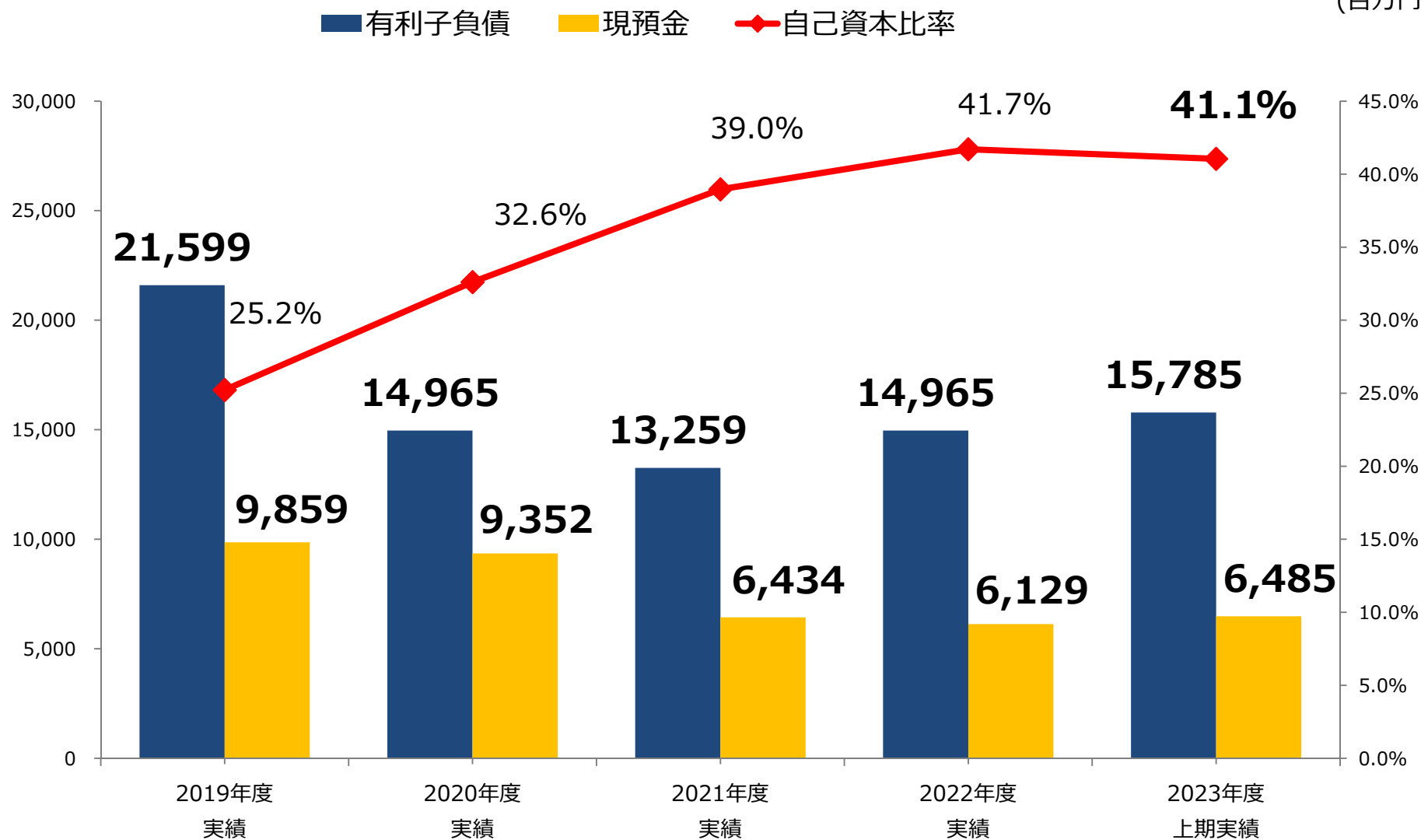
為替 レート	タイバーツ : 3.72	タイバーツ : 4.0
	人民元 : 19.38	人民元 : 19.65

2023年度上期の主な投資

- ・岡山工場関連 (J-MAX)
- ・太陽光パネル (J-MAX)
- ・金型トライプレス (タイ)
- ・大型プレスライン設備 (広州)
- ・メッキ加工設備 (広州)
- ・アルミ溶接設備 (武漢)
- ・高効率スポット溶接設備 (武漢)
- ・新型車種金型 (J-MAX・タイ・広州・武漢)

6. 財務状況

(百万円)



成長投資資金を借入金で充当。

自己資本比率は、前期から低下するも41.1%で推移

7. 通期連結業績予想

通期業績予想の修正理由

売上高	<ul style="list-style-type: none">日本における生産回復が堅調に推移。
利益	<ul style="list-style-type: none">タイ、中国における生産減少が下期も継続。生産減少においても収益を創出できるよう、徹底的に無駄を省いた高効率な生産体制構築のため、構造改革を推進する。構造改革では、タイ・マルジュン社においては、生産ラインの集約や内外作の最適化等生産体制の見直しにより効率的な人員体制を確立する。広州丸順社においては、希望退職者の募集に加え、客先の生産数に対応した生産設備の最適化を実施する。当該構造改革の推進に伴う関連費用を特別損失に計上。

【単位：百万円】

	2023年3月 期 実績	2024年3月期 前回見通し		2024年3月期 予想	増減	増減率
		上限	下限			
売上高	52,356	44,000	53,000	53,000	0~9,000	0~20.5%
営業利益	2,811	210	2,300	500	▲1,800~290	▲78.3~138.1%
営業利益率(%)	(5.4%)	(0.5%)	(4.3%)	(0.9%)		
経常利益	2,712	▲320	1,900	200	▲1,700~520	—~▲89.5%
経常利益率(%)	(5.2%)	(—)	(3.6%)	(0.4%)		
当期純利益	1,298	▲730	1,100	▲1,400	▲2,500~▲670	—
当期純利益率(%)	(2.5%)	(—)	(2.1%)	(▲2.6%)		
一株利益(円)	110.66	▲63.09	95.07	▲121.66		

2024年3月期 (円)

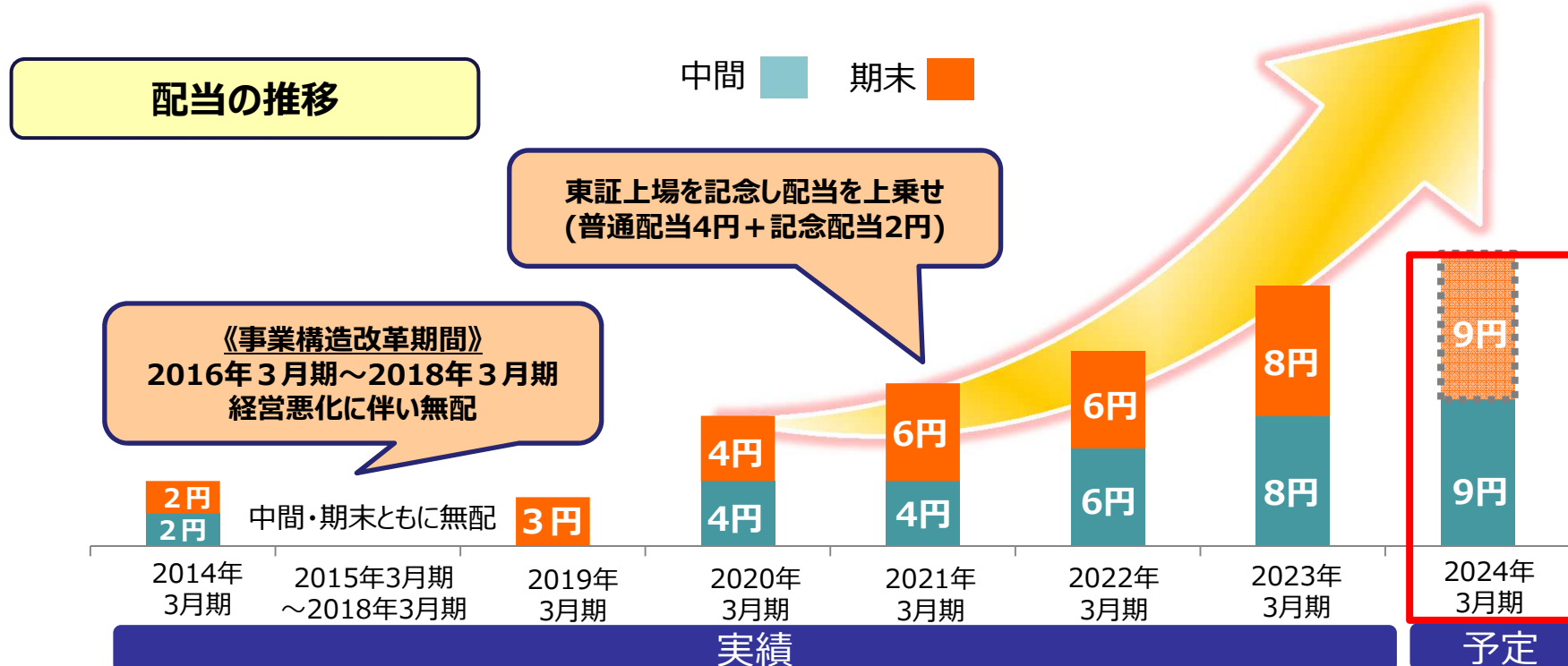
為替レート

タイバーツ：4.0、人民元：19.65

8. 配当について

<配当方針>

- 中長期1～2年目は経営環境変化への対応として、大型の成長戦略投資を実施。収益貢献/投資/資金調達・返済等グループ全体のキャッシュバランスを考慮し、**継続的に每期増配**することを基準とする。
- 中長期3～5年目は、成長戦略による収益拡大に合わせ**配当性向20%**を基準に株主還元を実施。



技術で夢を

-Make our dreams by Technology-

▼ WEBSITE

 HP ▶ <https://www.jp-jmax.co.jp>




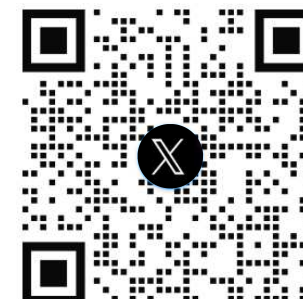
▼ OFFICIAL SNS

 YouTube ▶ @J-MAX3422



▼ OFFICIAL SNS

 X(旧Twitter) ▶ @J_MAX3422



◆
この資料は、株式会社J-MAX（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

また、将来に関する記述については、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの内容とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

◆